

## ◆次世代のまちづくりを目指す活性化対策を!



森嶋和明 議員

みの池田ふれあい  
1万人ウォーカーを!

Q

自立するまちづくりとして経費の削減は必要な対策であるが、性急に走れば沈滞ムードの元気のない町の雰囲気となり発展を阻害する。多くの人が集まり、事を進める明るい環境があれば元気な町となりおのずと栄え発展する。

池田町が誇る自然資源、環境文化を備えたふれあい街道及び、関連施設を利用して、全町挙げてのイベントの実施を提案する。

A できるものは支援したい

町長

A 町としてのウォーカーリーは過去に4年ほど実施した経緯がある。町外からも多数の人々が来ていたが交通や運営で難しい面があり地区公民館や各団体単位の活動へと形が変わってきた。統一した形で、できなかと考へている。

伊勢二見町との  
地域交流を

Q

全国サミットもその使命を終え今年度で

一旦終結する。新たな地域交流の場の創立が必要。足

かけ6年、今年3回目の伊勢二見夫婦岩の大しめ縄の奉納が、町内有志の活動で行われた。この活動を縁として、二見町との交流の場を「池田ふるさと祭り」の催事として設けられないのか。



歩いてみよう、ふれあい街道

A

自治体としての交流は事情があり、難しいが地域・団体としての交流は考えられる。その後方支援ということはでてくる。皆さんの意見を聞く中で今後検討していきます。

活性化対策は大切  
町長



平成17年2月15日 二見興立神社にて